

博物館
だより

ミニミニマインズ



第 199 号

2011.11

新しくなった鉱業博物館をご案内します！

1 階展示 《鉱物・鉱石》

鉱物・鉱石の標本を分類群ごとに体系的に展示しています。創立100周年の記念事業を契機に、国内外から沢山の標本を収集しました。現在は手に入らない貴重な標本もたくさんあります。展示されている標本の質・網羅性ともに国内トップクラスです。



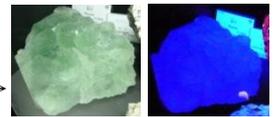
サーベイメーター

放射線測定器。北投石が弱い放射線を出していることが確認できます。



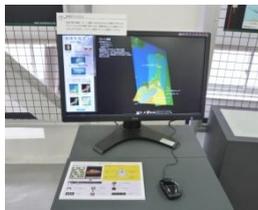
ミネラ・ライト（紫外線照射器）
短波長と長波長の紫外線を同時に照射して鉱物の蛍光を見る装置。

蛍石の蛍光→



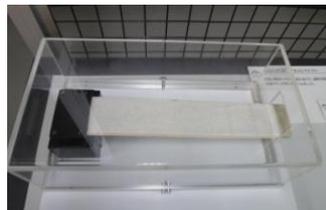
2 階展示 《岩石・地層・化石》

地球の構造をかたち作る物質と構造、地球と生命の歴史をテーマにしたフロアです。太陽系、隕石、岩石、火山、地震、化石に関する展示を行っています。標本に触れ、3D画像を操作するなど、楽しみながら学ぶ仕掛けも用意されています。



地球ダイナミクス

地球内部の構造、プレート運動、日本付近の火山・地震の分布などをアニメーションと3D画像で表示します。



こんにやく石（イタコルマナイト）

こんにやくのようにグニャリと曲がる石です。手に持って体感してみてください。



マイクロフォーカスX線CTスキャンで見る化石・鉱物・岩石標本

透視や回転、任意の断面をスライスして標本の内部構造や微細組織を3Dで観察できます。

3 階展示 《採鉱・選鉱・製錬》

資源を発見・利用・活用するための技術を紹介します。フライベルグ鉱山模型をはじめとする精密模型コレクションをはじめ、資源の分布がひと目でわかる世界鉱産地球儀、レアメタル標本、選鉱・製錬プラント模型など新しい模型が加わりました。地中熱冷暖房システムなど、自然エネルギー利用の実証展示も行っています。



フライベルグ鉱山模型

ドイツ東部のフライベルグ鉱山学校で、鉱山や鉱業関連機械の構造や仕組みを学ぶための教材として作られた模型。計8点を展示しています。



地中熱冷暖房システム



↑ 地中熱で暖められてほんのり暖かいベンチ



たくさんのご来館ありがとうございます

10月1日のリニューアルオープンから早1ヶ月半が経ちましたが、約2500名もの方々が当館に足を運んでくださいました。テレビ・新聞等の報道やポスターをご覧いただいた方、学校関係者や児童・生徒の皆さん、市民の団体等多くの見学者が来館しました。特に例年にも増して団体見学・視察等が多数ありました。幅広い世代の方、また専門知識のない方にも楽しんでいただけるようにと配慮した展示に、「パネルの説明が良く展示の内容がわかりやすい。」「以前に比べてとても見やすくなった。」等のお声をいただいています。11月30日からは「リニューアルオープンまでの軌跡」と題して写真展を開催しますのでぜひお越し下さい。

10月・11月の団体見学リスト

10/ 6 静岡県立掛川西高校教員 国大協常務理事 文部科学省審議官	11/ 2 秋田市生涯学習奨励員の会 小坂高校
10/12 東カザフスタン工科大学	11/ 4 大崎市公民館
10/14 横手清陵学院高校	11/ 6 三井金属エンジニアリング
10/19 能代高校	11/ 8 JOGMEC (石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
10/20 平成高校	11/16 鶴岡中央高校(山形県)
10/21 飯島中学校	11/18 横手清陵学院中学校
10/25 生保内中学校	11/19 秋田県教育協会
10/31 能代市聴力障害者会	11/19 NPO豊川をよいしよする会
	11/22 旭川小学校
	11/28 JAMSTEC(海洋研究開発機構)



博物館実習の一環として案内実習をする学生と見学の高校生



中学生に展示の案内をするサイエンスボランティアさん

ご紹介

鉱業博物館では理科研究をする中・高校生の支援も行っていきます。夏休み中、当館で千田恵吾学芸員のアドバイスを受けながら、寒風山での岩石採取に参加し、岩石プレパラートを製作した中学生(Nさん)からうれしいお便りが届きました。

(原文のまま)

お礼の手紙

拝啓 急に寒くなってまいりましたが、その後お変わりありませんか。

皆様ご多忙の中、夏休み中私の研究にご協力いただきありがとうございます。

さてこの度、秋田市小・中学校児童生徒理科研究発表会にて、推薦という結果になり、県大会で発表することになりました。これも皆様のご指導のおかげです。とても感謝しております。本当にありがとうございます。

ここ数日、寒さが厳しくなっておりますのでお体には充分にお気をつけ下さい。

敬具



講演会開催

11月2日(水)秋田市生涯学習奨励員の会の皆様のご依頼により、西川治博物館専任講師が「生涯学習の場としての鉱業博物館」と題して講演会を行いました。館内の見学後、改装された当館3階の講堂で開催された講演会には約70名の会員の皆さんが参加しました。「視野を広げる機会となり、有意義だった。」と大変好評でした。

標本の紹介

元素と鉱物の標本で見る元素周期表

周期表に合わせて元素と鉱物の実物の素材を展示しています。現在注目されているリチウムをはじめとするレアメタルや、ランタノイド系のレアアースも展示しています。標本ラベルの右上には代表的な鉱石・鉱物名を表記しています。1階の鉱物コーナーで展示している鉱物もありますので探してみてください。

- ◆レアメタル 地殻中の存在量が少ない、採鉱と製錬のコストが高いなどの理由で流通・使用量が少ない希少金属。携帯電話やゲーム機、デジタルカメラなどの小型家電からハイブリッドカー・電気自動車まで幅広く使われている。
- ◆レアアース レアメタルの中の17種類の希土類元素の総称。カラーテレビの蛍光体に使用されるイットリウムなどがある。



モリブテン



輝水鉛鉱



ハイブリッドカーやロケットの電子基板などに使われます